

クルマと過ごす日々

元マツダデザイナー・中島美樹夫が描くクルマの作品展



MAZDA Carol 360

Nakajima 

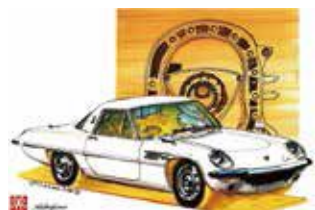


第1期「家族の思い出」9月5日(土)～10月4日(日)

第2期「少年の夢」10月10日(土)～11月15日(日)

第3期「デザイナーの記憶」11月21日(土)～12月27日(日)

中島美樹夫ギャラリートーク：12月5日(土) 12:30～14:00



- 会場：棟方志功・柳井道弘記念館（M&Y記念館）1F展示室
- 開館時間：10:00～17:00（入館は16:30まで）
- 休館日：水曜日・木曜日（休日の場合も休館となります）
- 入館料：一般500円、大学・専門学校生300円（高校生以下は無料）
※ 棟方志功常設展もご覧いただけます。



MUNAKATA & YANAI
MUSEUM OF ART

主催：棟方志功・柳井道弘記念館（M&Y記念館）

〒708-0814 岡山県津山市東一宮13-8 TEL/FAX:0868-27-3239

後援：マツダ(株)、(株)岡山国際サーキット、(株)ピーススポーツ、(株)MZレーシング
津山市、津山市教育委員会

家のたんすの中に鍵がある。形に見覚えがある。買い替える前の古い愛車の鍵だ。
 下取りの際に手放し難く、こっそり一個だけ手元に残した。
 手のひらに握ると、家族と一緒に笑いながら走った道や車の匂いを思い出す。
 自分の親は亡くなり、子供は大きくなった。
 ちっぽけな鍵の中に、大切にしていた日々が生きている。

日本経済新聞コラム「春秋」(2015年3月29日(日))より抜粋



現代人の生活や人生において、クルマは単なる移動道具ではなく、さまざまな何かを私達に与えてくれています。
 デザイン、美しさ、夢、憧れ、そして大切な思い出・・・。

元マツダのデザイナーである中島美樹夫さんが水彩で描くクルマの絵画展です。

第1期では、クルマと共に生きてきた家族との時間を振り返ってもらえる作品を

第2期では、少年の頃に抱いたクルマへの夢や憧れを感じてもらえる作品を

第3期では、デザイナーとして中島さん自身の思い出と共にあるクルマの作品を

各テーマに沿って描かれた中島さんの作品を展示し、時代背景などとともに紹介してゆきます。

中島美樹夫氏のプロフィール

- 1950年 彫金家中島華照・日出代の三男として東京で生まれる。
- 1971年 育英工業高等専門学校工業デザイン学科卒業。
東洋工業(現マツダ)に入社、デザイン部門に配属。
2代目コスモを皮切りにマツダ車のエクステリア/インテリアデザインを手がける。
- 1995年 トーヨーマテラン(株)に出向。
ユニバーサルスタジオジャパン、倉敷チボリ公園等、全国の公園施設等の景観デザインに携わる。
- 2000年 マツダデザイン本部に帰任。
ブランド戦略、デザイン戦略立案に携わる。
- 2010年 マツダを定年退職。
フリーランスのデザイナー、水彩画家として現在に至る。
岡山国際サーキットで開催される「マツダファンフェスタ」公式ポスター制作等で知られる。

主な作品展・展示

- 2010年 「万年筆にときめいて」(万年筆を描いた水彩画展)
- 2012年 「思い出の一台」(退職した友人のために描いた思い出の車の作品展)
「マツダファンフェスタ」会場での作品展(以後、毎年開催)
- 2014年 「心ときめく車との会話」(葉書サイズの車のイラスト作品展)
- 2016年開館(予定)のドイツ・マツダミュージアムでの作品展示



お車でお越しの方は、中国道津山インター・院庄インターより約25分。
 JR津山駅より約15分。
 グリーンヒルズ津山・リージョンセンター向かいの駐車場(無料)をご利用下さい。リージョンセンターより徒歩約3分。

棟方志功・柳井道弘記念館(M&Y記念館)
 〒708-0814 岡山県津山市東一宮 13-8 TEL/FAX: 0868-27-3239

